

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000378	部名	市議会	課名	議会事務局	
計画事業事業名	広報広聴活動事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	広報広聴活動事業						(820101)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	議会費	項	議会費	目	議会費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○広報広聴は議会の基礎的事業である。</p> <p>○議員自身が行うことの限界がないかどうか意識されたい。</p> <p>○指標はすべて発信サイドであり、需要側(市民サイド)の分析が不可欠である。</p> <p>○事務局職員の努力でまかなわれているところも伺え、外部化できる要素がないかどうか検討すべきである。</p> <p>○そもそも議会だよりは、どれだけ読まれているのかを把握する必要があり、アンケートのとり方から工夫すべきである。</p> <p>○広聴が、どれだけ有効に機能しているのか、疑問に感じる。報告会を最上位に据えて、広聴を体系的に整理し実施すべきではないか。</p> <p>○マニフェスト研究所の発表するランキングを上げることが議会の本旨ではない。</p> <p>○議会報告会の成果については回数だけでなく、今まで意見を聞けなかった人とどれだけやり取りできるか、報告会の中で出された意見をどう活かせるかにある。</p>							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・議会基本条例に掲げる、議会の「情報発信」市民参加」を推進する上で、広報広聴活動を最重点事業に位置づけている。 ・本事業は複数の関連事業で構成されるが、個々の事業がより高い効果を生み、市民の議会への関心度の向上につながるよう、事業の実施時期、手法など年間計画の中で再検討したい。 ・「開かれた議会」を実現する上で、市民への迅速かつ適正な情報公開は不可欠であり、議会だより、ホームページ、ライブ中継、録画配信などの充実を図る必要がある。また、今年度、リニューアルした議会だより、ホームページにおいては、改めて市民のニーズや評価を調査し、適正な目標指標を設定したい。 ・議会報告会は、これまで継続して実施してきた中での成果と課題を整理する中で、より充実した公聴の場となるよう実施方法を再検討したい。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・全体事業の中で、広報広聴に関連する事業を統合 ・広報広聴委員会において、事業全般の市民ニーズ、評価等の調査実施に向けた検討 ・広報広聴事業全般の適正な目標指標の設定 ・議会だより、ホームページの充実 ・議会報告会の実施方法を検討 							
見直し方針区分	C 予算削減を伴わない事業見直し							
具体的 見直し 内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		/
	平成29年度	・議会だより、ホームページの充実化(事業費増額 442)				442		/

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000895	部名	市議会	課名	議会事務局	
計画事業事業名	議会改革推進事業(議会委員会等活動事業)							
構成予算事業名 (財務会計コード)	議会委員会等活動事業						(820335)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	議会費	項	議会費	目	議会費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○議会の資質向上は議会の本来的なものであるはずであり、この事業で実施する内容が「議会改革」と銘打って行うべきものかよく考える必要がある。現状では他の委員会活動費と抜本的な違いが感じられない。</p> <p>○議会改革ランキングを上げることに主眼が置かれてはいないか。</p> <p>○議会の客観的評価は市民の側から行われるべきものであるはずである。</p> <p>○先進地視察は必要不可欠なものか、また、その成果はどこに生かされているのか検証が必要である。</p> <p>○形式要件を満たす議会改革ではなく、議会のレベルアップ、資質向上につながる改革が本旨であり、予算立てを個別に行って進めるべき事業内容かどうか、再検討されたい。</p> <p>○ICT化を進めるならば、自らのタブレットやスマホでも代替できるものではなく、さらに市民にとっても付加価値のある、導入する甲斐のあるものとするべきである。単なる資料の電子化や投票の電子化、情報伝達の手段ならばアプリの開発で達成できる程度のものであると思われる。</p> <p>○真に市民のためになる取組なら全て公費負担で実施した方がよい。</p> <p>○議会改革推進事業と議会運営一般事業を一事業にまとめ、予算の中で裁量を持って取組んだほうが事務局としても議会としても動きやすいのではないか。</p>							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・議会改革の取り組みは、議会活動の方針、議会のあり方を明確にし、市民により一層信頼される議会を迫る上で、今後も重要なことと認識している。 ・平成25年4月の議会基本条例の施行を契機として、議会改革検討会議を設置し、従来の議会活動の見直しや情報発信、市民参加などの新たな取り組みが構築されたと考えており、今後はそうした取り組みを、市民に浸透させていくため、議会全般に関わる恒常的な取り組みとして、他の委員会等活動事業と統合したい。 ・議会基本条例を基本として議会活動や議会運営を評価・検証するしくみづくりが必要と考えており、その中に市民意見の反映や専門的知見の活用などを取り入れ、多様な視点で議会を客観的に評価できる取り組みにつなげたい。 ・先進地視察は、議会活動を充実させる上で必要と考えており、今後、経費の節減を図りつつより効率的な実施に努め、充実した成果につなげたい。なお、視察終了後には、公開で報告会を実施し、議員間の情報共有と市民への情報発信を行っている。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・現行事業は議会委員会等活動事業に統合し、全体予算額を削減 							
見直し方針区分	B 予算削減を伴う事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		/
	平成29年度	先進地行政視察の見直し (事業費減額△330)				△330		/